

## 決算特別委員会（全体会） 記録

開 会 年 月 日	令和元年 10 月 4 日
開 会 時 刻	午前 9 時 58 分
散 会 時 刻	午前 10 時 32 分
出 席 委 員 名	◎品川幸久 ○野崎隆太 宮崎 誠 久保 真
	中村 功 井村貴志 上村和生 北村 勝
	楠木宏彦 品川幸久 吉井詩子 世古 明
	岡田善行 辻 孝記 吉岡勝裕 藤原清史
	小山 敏 西山則夫 浜口和久 山本正一
	宿 典泰 上村口新吾
	中山裕司 議長
欠 席 委 員 名	な し
署 名 者	宮崎 誠 久保 真
担 当 書 記	森田 晃司
審 議 案 件	議案第 33 号 平成 30 年度決算認定について
	議案第 34 号 平成 30 年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び資本金の額の減少並びに平成 30 年度伊勢市病院事業会計決算認定について
	議案第 35 号 平成 30 年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成 30 年度伊勢市水道事業会計決算認定について
	議案第 36 号 平成 30 年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成 30 年度伊勢市下水道事業会計決算認定について
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

## 審査経過

品川委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第33号 平成30年度決算認定について」外3件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、1件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、会議を閉会した。

なお、一括4議案の起立採決の結果、「議案第33号」については賛成多数、他の3議案についてはそれぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午前9時58分

### ◎品川幸久委員長

ただいまから決算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者は、当初決定のとおり宮崎委員、久保委員の御兩名を指名いたします。

それでは、「議案第33号 平成30年度決算認定について」外3件一括を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案についての各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、審査に入ります。

各分科会から報告をお願いいたします。

最初に、産業建設分科会、上村会長からお願いいたします。

上村会長。

### ○上村和生産業建設分科会会長

去る9月17日の決算特別委員会において産業建設分科会に割り振りされました「議案第33号 平成30年度決算認定について」外2件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月20日及び24日に審査を行いました。

「議案第33号 平成30年度決算認定について」中当分科会関係分、「議案第35号 平成30年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市水道事業会計決算認定について」及び「議案第36号 平成30年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」は、それぞれ可決、認定することに異議がないことを

確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、議案第33号中当分科会関係分のうち、一般会計の歳入においては、使用料及び手数料について、無届の占用物件に係る道路占用料及び住宅使用料の未収金について不公平感がないよう対応していくことを期待する意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、総務費においては、駐輪場の防犯看板等の設置を望む意見がありました。

労働費においては、就労支援について、障がい者の雇用のための事業者への訪問回数よりも就労に結びついた数が大事であるとの意見、高校生の市外・県外への流出を防ぐため、地元の企業の紹介に力を入れることを望む意見、人手不足解消のために希望の職種に就けるようハローワーク等と連携、またセミナー及び企業見学ツアー等の支援について研究していくことを望む意見がありました。

農林水産業費においては、遊休農地解消に向け、問題にしっかりと取り組むことを求める意見、新規就農者が安定した所得を得られる取り組みを期待する意見、6次産業化について、目的の整理を行い、事業に取り組むことを望む意見、農産物のブランド化について、産業観光部内で連携を取りながらブランドの基準作成を求める意見、農用地の除外がされず孤立した土地があることから、それを活用し地元の経済活動につなげることを望む意見、農地の中間管理について、課題解決に向けた検討を期待する意見、地産地消推進について、認定店を増やすだけでなく各品目が市内でどれだけ消費されているかが大事であり、それが分かる仕組みづくりを期待する意見、二見しょうぶロマンの森について、入園料を払ってでも来訪客が訪れるような取り組みを期待する意見、水産業について、担い手の育成・確保にさらなる研究を期待する意見がありました。

商工費においては、創業支援について、創業しやすいよう事業の見直しを期待する意見、中小企業振興対策について、庁内で連携し、景気動向の詳細な調査・研究を行い、中小企業振興につなげることを望む意見がありました。

観光費においては、「伊勢っ子」育て事業について、子どもたちが大人になっても伊勢を誇りに思えるよう事業を推進していくことを期待する意見、また、二見浦海水浴場について、施設の老朽化等の問題はあるが、一年を通じて利活用が重要であり、それに向けた運営を期待する意見、レンタサイクルについて、県外・国外からも誘客できる取り組みを期待する意見、観光協会の負担金について、収益事業が活発化できるよう行政からの支援が必要との意見、また、事業名・事業概要が一致していない、さらには重複している部分があると指摘する意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、早急に事業を進めていくことを望む意見、宇治山田駅周辺道路が通勤・通学、雨天時に非常に混雑することから、集中して工事に取り組むことを期待する意見、排水路のしゅんせつについて、引き続き市民の要望に応じていくことを期待する意見、排水路の整備について、災害の発生を想定し、スピード感を持って事業を進めること、また、雨水の流域の調査を行い、ポンプ性能の見直しを望む意見、景観普及啓発について、コンクール等の写真・絵画をシティプロモーションへ活用することを期待する意見、災害に強いまちを目指して電線の地中化を期待する意見、移住促進対

策について、ホームページ・移住相談会でのPRに加え、高校の同窓会の県外支部ホームページでのPRを期待する意見、公営住宅の管理について、空室が増えても指定管理料が変わらない状況に矛盾を感じるとの意見、また、事業の仕掛かりが遅く、繰越明許費が多いことを指摘する意見がありました。

次に、「議案第35号」の水道事業会計については、有収水量向上に向けて漏水調査のさらなる努力を期待する意見、水道事業ビジョンにより2028年の財政状況が憂慮されることから、将来的に水道料金を上げない運営を期待する意見、水道事業の南勢水道受水費の引き上げ抑止について、引き続き三重県企業庁への要望を期待する意見、「議案第36号」の下水道事業会計については、今後の財政運営が懸念されることから、市民の負担軽減に向けた取り組みを期待する意見、また、人口密度の低い下水道整備エリアを見直し、合併浄化槽エリアとすることを望む意見、汚水・雨水処理の投資のバランスを指摘する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告とさせていただきます。

#### ◎品川幸久委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、教育民生分科会、浜口会長、お願いいたします。

浜口会長。

#### ○浜口和久教育民生分科会会長

去る9月17日の決算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第33号 平成30年度決算認定について」外1件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月25日及び26日に審査を行いました。

「議案第33号 平成30年度決算認定について」中当分科会関係分は、認定することに多数が異議ないこと、「議案第34号 平成30年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び資本金の額の減少並びに平成30年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は、可決、認定することに異議ないことを確認いたしましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見といたしましては、「議案第33号」中当分科会関係分のうち、一般会計の歳入においては、教育費収入について、今一色小学校や沼木中学校の旧学校体育施設の物損時に修繕費用を利用者の負担だけで賄うのは難しく、検討を求める意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、民生費においては、健幸ポイントについて、

今後の制度の継続と参加者が複数回参加できるよう制度の拡充を期待する意見、障がい者が外出しやすくなる交流会事業の拡充、また、障がい者サポーター研修会の参加者増加のため、広く周知を求める意見、障がい者就労体験を受けた方の就労支援、また、ヘルプカード・ヘルプマークの周知を求める意見、老人乗り合いバスについて、高齢者の外出支援の拡充を期待する意見、老人クラブの活動促進のため、活動資金の申請等の手助けを求める意見、待機児童対策及び学童保育について、市が責任を持って設備を整えることを求める意見がありました。

衛生費においては、飼い主がいない猫に対して不妊手術を行う T N R 活動の継続を求める意見、歯科健診について、市民の方々の歯が健康であり続けるためにしっかりとした取り組みを求める意見、ごみ排出量の増減等の指標を分析し、今後の研究を求める意見、ごみ出しアプリ普及啓発について、成果がわかりやすい広報を求める意見がありました。

教育費においては、通学路の安全対策について、通学路交通安全プログラムを参照し、今後につなげることを求める意見、子供たちが活字離れとならないよう、学校図書を充実し、読解力を養うことを期待する意見、内申点の評価について、部活動だけでなく学校外の活動状況も考慮し、公平性を求める意見、社会人野球大会等のスポーツ誘客を強化することを期待する意見、スポーツ施設修繕工事の内容について、正確な情報の提出を求める意見がありました。

次に、特別会計でございますが、国民健康保険特別会計においては、特定保健指導の高い指導実績を評価する一方、メタボリックシンドローム防止の指導と改善に向けて、財源をしっかりと確保し、取り組みを強化することを期待する意見がありました。介護保険特別会計においては、認知症サポーター養成講座や認知症ステップアップ養成講座受講者の知識を活かせる場の提供、また、今後のさらなる事業展開を期待する意見がありました。

なお、介護予防・日常生活支援総合事業に参加する事業所数が伸びず、緩和されたサービスについて、保険給付から外して進めていることや、他職種の専門家から意見を聞く場である生活支援会議に行政が余りにも介入しすぎており問題があることから、介護保険特別会計に反対する意見があったことを申し添えます。

次に、「議案第34号」の病院事業会計については、新病院が地域に根付いた病院であることを市民に広く周知し、切れ目のない医療を提供していくことを求める意見、旧病院施設の解体工事について、現場の状況を把握し、粉じん対策等、地域住民が納得する工事の進め方を求める意見、新病院が災害拠点病院の指定を受けたこともあり、今後の機能強化を考えながら運営に当たることを期待する意見、また、他市では独立行政法人化等による経営形態の変更により経営の改善ができた事例があるため、調査を求める意見、市民に支えられている病院であることを受け止め、健全な運営及び経営を期待する意見、決算における収益と費用の関係等、各指標の要因をしっかりと分析し、健全経営に努力することを期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎品川幸久委員長

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、北村会長、お願いいたします。

北村会長。

○北村勝総務政策分科会会長

去る9月17日の決算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第33号 平成30年度決算認定について」、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、9月27日に審査を行いました。

「議案第33号 平成30年度決算認定について」中当分科会関係分は、認定することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、当分科会関係分のうち一般会計の歳入においては、市税について、差し押さえ等の滞納処分により収入未済額が減少傾向にあり、高い収納率を維持していることを評価した上で、現年課税分のさらなる収納率の向上とキャッシュレス化等による納税しやすい環境づくりを求める意見、不納欠損への慎重な取り扱いを求める意見、生産年齢人口の減少等に伴う市税収入の減により市政への影響を懸念する意見がありました。

次に、寄附金については、ふるさと応援寄附金の返礼品の充実と複数のふるさと納税ポータルサイトを活用した取り組みを求める意見、ガバメントクラウドファンディングがこれからの寄附の新たな仕組みとなり、課題の解決やシティプロモーションにも繋がるのではないかとの意見がありました。

次に、繰入金については、大変厳しい財政状況を鑑み、財政調整基金を取り崩ししている状況から、財源確保の手法や今後の財政収支の展望を問う意見がありました。

次に、市債については、市民一人当たりの実地方負担額が今後数年間でピークを迎えるため、さらなる対策を求める意見がありました。

次に、一般会計の歳出でございますが、総務費においては、一般管理費について、議会の議決が必要となる公共工事の落札率が高止まりとなっており、入札方法の一考を求める意見、人事管理費について、働き方の工夫やストレスチェックの結果を活用し、無理のない職場づくりを求める意見、職員の意識改革や事務の効率化等による時間外勤務の削減について一定の評価をしながらも、職員採用については専門職も含め民間との採用競争に負けないよう危機感を持って取り組むことを求める意見、人材育成推進費について、地域経済分析システム（リーサス）等のビッグデータの分析・活用を早期に求める意見がありました。

企画費においては、子供の出生数が平成30年度に増加に転じたものの、地域間の偏り

があるため、人口動態等を把握し、教育や福祉、子育て等の施策に反映させるよう求める意見、出会い・結婚支援事業について、SNS等の活用や企業への働きかけを通じて、より有効な運用を求める意見、シティブロモーション推進事業について、シビックプライドの育成はもとより、自治体存続のためには自治体が営業するという観点に立った取り組みが必要であるという意見、高校生や大学生等の若者の感性を生かした積極的な情報発信を求める意見、ふるさと応援寄附推進事業について、新たな事業者の参画や体制強化のほか、民間委託の検討を求める意見、市への寄附金から市外への寄附金を差し引くとマイナスであり、手法の再考を求める意見、公共施設マネジメント事業について、市民に事業そのものが浸透していないため、計画や内容の周知を求める意見がありました。

地域自治推進費では、ふるさと未来づくり資金について、増額等の要望に対し検討を求める意見、役員の高齢化や担い手不足の深刻化等により、まちづくり協議会の存続を危惧する意見、自治会所有の集会所について、大規模災害時に機能が喪失することを防ぐため、耐震診断や耐震補強等の補助制度創設を求める意見、防犯活動推進費においては、防犯灯のLED化について、事業の最終年度を見据え、地域の理解を得ながら進めて欲しいとの意見がありました。

次に、民生費においては、人権政策費について、市民館と地区集会所の集約化は、公共施設マネジメントの施設類型別計画に則してしっかりと進めてもらいたいとの意見がありました。

次に、消防費においては、常備消防費について、救命講習の受講者数が増加していることを評価した上で、引き続き受講者のスキルアップを図って欲しいという意見、消防本部の広域化を改めて検討する場合は、伊勢市がリーダーシップを取って進めてもらいたいとの意見、災害対策費について、粉ミルクの適正な備蓄や備蓄倉庫の地域性への配慮を求める意見、停電時においては、水・トイレ・食糧のほか、携帯電話の充電にも支障が出ないよう求める意見、9月の台風15号により千葉県で発生した大規模停電の教訓を無駄にせず、危機管理に生かすよう求める意見、地区防災計画の策定に市の支援を求めるとともに、誰もが使いやすい災害用トイレの整備とマンホールトイレの使い方についてさらなる周知を求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、総務政策分科会からの報告といたします。

#### ◎品川幸久委員長

以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ◎品川幸久委員長

御発言もないようですのでございますので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑は終わります。

これをもって各分科会会長報告及び質疑は終わります。

続いて総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。

続いて議案第33号外3件一括に対する討論を行います。討論はございませんか。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

「議案第33号 平成30年度決算認定について」、日本共産党として反対の立場から介護保険特別会計決算を中心に討論をいたします。

介護予防・日常生活支援総合事業において緩和されたサービスが行われていますが、この事業に参加する事業所、全事業所の半数にも満たない状況です。通所介護に至っては、31.3%という状況です。これは総合事業の対象になっている利用者がサービスを受けるに当たって不自由を感じているという状況をきたしております。総合事業に参加する事業者が少ない理由は、事業所側から見れば、緩和型を担う人材が不足していると同時に、研修だけの人を家庭に送るのは不安だと感じているからだというふうに説明をしていただいている事業所もあります。要支援の方々に必要なサービスが教育されているとは言えない状況があります。これが決算認定に反対する第一の理由です。

2番目に、生活支援会議の状況を上げなければなりません。これは自立支援型地域ケア会議と呼ばれておりますけれども、分科会の中の質疑で、「個別ケースを通じて、ケアマネージャーと多職種の専門家が協働してケアプランを検討すること」及び「地域の社会資源を開発すること」、これらを目的としているというふうに答えていただきました。しかし、その会議の実態は、ケアマネージャー、そして利用者の意思が反映されにくいという状況をお聞きしているところであります。国の社会保障費削減方針のもと、当事者の意思、そして直接支援をしているケアマネージャーが作成するサービス利用計画に行政が過度に介入しているのではないかと感じさせるところです。このような状況は、介護保険制度設計の当初においては想定をされていませんでした。認定については基礎自治体に任せられておりますけれども、ケアプランはケアマネージャーに任せるとするのがもともとの制度設計だったはずですが。

3番目に、介護職員のなり手がありません。その理由として相変わらずの待遇の低さが挙げられますが、多くの事業所は職員募集をしてもなかなか人が集まらない、こういう困難を抱えております。

また、ケアマネージャーの不足も深刻なっております。ケアマネ試験の受験者が減っているという実態も実際にございます。これもやはり業者がサービスを受けにくくなることにつながっていると考えます。

このような状況を放置することは許されない、こう考えてこの決算認定には反対をいたします。

◎品川幸久委員長

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕



◎品川幸久委員長

他にないようでございますので、以上で討論を終わります。

ただいまから「議案第33号 平成30年度決算認定について」外3件一括を採決いたします。

1件ずつ採決してまいりたいと思います。

まず、「議案第33号 平成30年度決算認定について」を採決いたします。

議案第33号について、これを認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第33号 平成30年度決算認定について」は認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第34号 平成30年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び資本金の額の減少並びに平成30年度伊勢市病院事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第34号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第34号 平成30年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び資本金の額の減少並びに平成30年度伊勢市病院事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第35号 平成30年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第35号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第35号 平成30年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市水道事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

次に、「議案第36号 平成30年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」を採決いたします。

議案第36号について、原案どおりこれを可決及び認定すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎品川幸久委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第36号 平成30年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成30年度伊勢

市下水道事業会計決算認定について」は原案どおり可決及び認定すべしと決定いたしました。

以上で本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長の報告文の作成につきましては、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。

これをもって決算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前10時32分

上記署名する。

令和元年10月4日

委員長

委員

委員